



井の頭自然文化園の動物たちと飼育員 その10

井の頭恩賜公園開園100周年カウントダウン新聞

井の頭

吉祥寺

30号
2016年9・10月号

2016年(平成28年)9月1日

●編集・発行
いのきちさん編集委員会
編集長 川井信良
東京都三鷹市上連雀 1-12-17
株式会社文伸 発行
電 話 0422-60-2211
FAX 0422-60-2200
メール inokichi@bun-shin.co.jp
●協力
東京都西部公園緑地事務所
東京都井の頭自然文化園
井の頭恩賜公園100年実行委員会
NPO法人みたか都市観光協会
一般社団法人武蔵野市観光機構
●制作支援
株式会社文伸 / ふんしん出版

井の頭恩賜公園
開園100周年まで

あと8ヵ月

INFORMATION 2016年9~10月

井の頭自然文化園

●資料館特設展示「アジアゾウはな子の69年」

はな子の69年の生涯を振り返ります。

●会期：7月26日(火)～10月30日(日)

●場所：動物園(本園) 資料館1階

●アジアゾウはな子とのお別れ会

●日時：9月3日(土) 11:00～ ●場所：動物園(本園) 芝生広場

●ヤマネコ祭2016

ツシマヤマネコって知っていますか? ヤマネコ祭で楽しく学ぼう

●日時：10月29日(土)・30日(日) ●場所：動物園(本園) 芝生広場

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.tokyo-zoo.net/zoo/ino/index.html

井の頭恩賜公園

●2016 吉祥寺三鷹文化祭 井の頭100祭 Countdown to 2017

●日時：10月22日(土) 23日(日) 11:00～16:00(雨天中止)

●場所：井の頭公園 野外ステージ前広場

●内容：ステージパフォーマンス アートマーケット キーワードラリー
ライブイベント ワークショップ その他イベントいろいろ

チーム「あか井の」(いのけん一級合格者の会)が 井の頭恩賜公園100年の歴史を紹介!!

チーム「あか井の」は、井の頭100祭にて、来年の井の頭恩賜公園開園100周年にちなんで、公園の歴史をパネルや展示物で紹介いたします。子供さんにもハンズオンパネルなどで公園を知って頂けるようにします。是非お越しください。

●2016 井の頭公園野外劇フェスタ 劇団 どんぐり「愛より速く」

●日時：8月31日(水) 19:00開場 19:30開演

前夜祭 カルテット・ラ・ストラダ

●日時：9月1日(木)～9月11日(日) 19:00開場 19:30開演

※4日(日)、8日(木) 休演

詳しくはホームページをご覧ください。http://www.i-np.jp/index.html に載せます。

井の頭かんざつ会

●第137回「クモの神秘的な世界」9月17日(土) 10:00～12:00

●第138回「実りの秋」(予定) 10月9日(日) 10:00～12:00

事前申し込みが必要です。詳細や申し込み方法はHP http://www.kansatsukai.net/ に載せます。

英語で井の頭公園ガイド

10月19日(水)
10時から

井の頭検定1級取得者、チーム「あか井の」リーダー渡邊さんが、アメリカ WesternNorthCarolina クラブ女性に井の頭公園周辺を英語でガイドいたします。

興味がある方は一緒に同行されませんか?

【問い合わせ先】 Friendship Force武蔵野三鷹クラブ

✉ noriko@friendshipforce.org

井の頭自然文化園の動物たちと飼育員 その10

タヌキ



と

おおひさかすま
大西一馬さん



学校で飼育を専門的に学び、卒業後に井の頭自然文化園に就職して、最初に担当した動物の一つがタヌキだという大西一馬さん。井の頭周辺でも野生の目撃情報が多いタヌキですが、文化園にいる3頭も、幼児期に杉並区で保護されたきょうだいで、7歳になりました。

「人工哺育されたので、人に慣れていそうなのに、そうでもないんです」と大西さん。ポン・ポコ・リンという愛らしい名前は、あくまで飼育上の個体把握のためにつけたもので、名前を呼んでも反応はありません。エサやりでも、「好きなものや食べる順番を知りたいので、食べているところを見てみたいんだけど、のぞくと食べるのを止めてしまう」という人見知りぶり。「飼育員だからといって仲良しはなれないんです」とつぶやきます。

絵本などにはお腹ぼこりの福々しいイメージに描かれますが、実際には小型犬サイズ。冬こそ脂肪を蓄え、毛もふさふさしますが、「夏毛の間はスリムで、流線型のような体つきが見られます。顔立ちも意外としゅっとしてるんですよ」。

イヌ科には珍しく木登りする性質があるため、昨年、ウッドデッキを設置。ときおり登ってくつろぐようになり、ぐっと観察しやすくなりました。「身近で親しみのある動物だからこそ、本物の姿を知ってもらいたいですね」と大西さんは願っています。

小田原 滯 (おだわら みお) 編集者・ライター。フィールドは多摩。三鷹市在住。

資料館特設展示

「アジアゾウはな子の69年」

会期：2016年7月26日(火)～10月30日(日)

場所：動物園(本園) 資料館1F

5月26日に69年の生涯を閉じた、アジアゾウのはな子。はな子の生涯は、日本のアジアゾウ飼育の歴史でもありました。そんなはな子が歩んで来た道のりを紹介しています。実際使用していたはな子の遊び道具や餌をつくる機材、他にも印刷物、記念品、飼育日誌など貴重な資料も展示しています。最後のコーナーでは、日本や世界の最新の飼育状況や施設についても紹介し、今後のアジアゾウ飼育についても皆さんと考える展示です。

今この記事を書いている私の人生よりもはるかに長く生きてきたはな子。皆さんが会ったことのないはな子にあえるかもしれません。

(教育普及係大橋直哉)



井の頭公園の生き物たち その30

井の頭かんざつ会 田中 利秋 (たなか としあき)

井の頭かんざつ会代表。毎月自然観察会を開催。池の外来魚問題にも取り組む。



ケショウハツ

緑の下の力持ち

「食べられるきのこ? それとも毒きのこ?」きのこを紹介したとき、ほとんどの人がする質問です。しかし知ってほしいのは、菌類が自然界で担っている大きな役割のほうです。きのこは胞子を作るために形成されるもの(子実体)で、菌類の本体は地面や枯れ木の中に広がっている菌糸です。「菌根菌」と呼ばれるグループは、特定の樹木や草本の細い根を菌糸で取り囲んで菌根を作り、共生します。極細の菌糸は植物が土中から水分や養分を吸収するのを助け、植物が光合成で作った有機物の一部を受け取るのです。写真のケショウハツなど

ベニタケ科の菌類は、ブナ科の樹木などと菌根を作ります。一方、「腐生菌」と呼ばれるグループは、枯れた植物体を食べて育ちます。その中で、枯れ木を分解するものが「木材腐朽菌」です。木材を構成するセルロースやリグニンには他の生物にはほとんど分解できないのですが、菌類はそれらを分解する酵素を出し、利用するのです。菌糸は容易に分解されるので、木材腐朽菌は、枯れ木や枯れ枝を植物が再利用できる栄養素に分解して土に戻す役割を果たしていることとなります。井の頭公園の雑木林が健康に成長でき、持続できるのは、菌根菌と腐生菌のお陰なのです。

とはいえ、菌糸はよく見えないし、見えても区別が付きません。きのこが出て初めて、どんな菌類がいるのかわかります。菌類の偉大な働きを理解した上で、折々のきのこを観察するのが、公園のきのこの正しい楽しみ方だと思います。きのこは形も色も、出る環境も様々です。ケショウハツは桃のようで美味しそうですが、なんとカブトムシのにおいがします。また、ひとつの切り株を継続的に観察すると、いろいろなきのこが入れ替わり生えてきて、切り株が少しずつ分解されていくのがわかります。もちろん、井の頭公園にも食べられるきのこがいろいろ出ます。でも、公園は多くの人が観察を楽しむ場所ですから、きのこ狩りはやめましょう。



土に還る切り株

30

「楽園はよみがえるか!」



カイツブリは、得意の潜水で小魚やエビを捕まえる。小さな水鳥です。池や川にカイツブリで縄張りを作って暮らし、子育てをします。

たくさんの敵

6月半ばまでにヒナを孵した3ペアの子育てはほぼ順調でしたが、同じペアの二回目を含め、その後の子育てはきわめて不成績です。餌不足ではありません。巣が壊れたり天敵に襲われたりして、卵やヒナを失ったのです。暖かくなると生き物の活動が活発になり、ヘビやカラスなど天敵も増えます。カルガモの幼鳥が小さなヒナを食べるといって、仰天の事件まで起きました。

写真の若鳥のように、カイツブリは小さなザリガニもよく食べます。ではザリガニは歓迎すべき生き物かというところ、それは違います。大きくなってヒナを襲ったりはしません。カイツブリの餌になる小動物を減らしてしまうからです。直接捕食するだけでなく、水草をどんどん切って、小動物が増えらる環境を破壊してしまうのです。魚の卵や小動物を食べるブルーギルも間接的な敵です。

かいぼり27で懸命に駆除したのに、稚魚が多数現れています。間接的な敵の影響は、じわじわとやって来ます。



ザリガニを捕った若鳥

井の頭かんざつ会 田中 利秋 http://homepage2.nifty.com/tnt-lab/

連載絵本 子狸ボン太の巻 その3

あと8ヵ月

絵せのうさぎこ 文瀬能けい子

せのうさぎこ

1975年 盛岡市で生まれる。小6で三鷹へ転校。アニメ動画から絵本に進む。三鷹市在住。瀬能けい子さんは母親。

戦争の傷跡を そっと見せてくれる木々

2016年は、アメリカ大統領オバマ氏が広島を訪問した年として、歴史に刻まれることになりました。重ねて、8月の広島と長崎の原爆の日、そして15日の終戦記念日、平和への思いを新たにしたい人も少なくないでしょう。井の頭公園も、戦争と平和について語り伝えるべきことの多い場所です。



「戦争の記憶を武蔵野にたずねて～武蔵野地域の戦争遺跡ガイド」(牛田守彦・高柳昌久著／ぶんしん出版／2005年発行)で、井の頭公園を含む武蔵野地域の「戦争遺跡」を知ることができます。



▲動物園の「大放飼場」の近くのアカマツに残されたハート型のくぼみ。

アカマツに残されたハート型のくぼみ、ご覧になったことがありますか？ 戦中に、松ヤニを採取した跡です。なんと松ヤニを軍用機の燃料にする予定だったのですから、驚きです。ハート型が付いた木は、井の頭自然文化園の動物園内に、今も20本ほど残っているそうです。

そもそも戦中の昭和17(1942)年に開園した自然文化園は、人手や物資が不足し、当初の計画が大幅に縮小されて実現されました。翌年には、万が一の空襲に備えてホッキョクグマ1頭とニホンクマ2頭とフタコアラクダ3頭の命を絶つという、苦渋の選択もせざるをえませんでした。

一方、三鷹駅の北側の中島飛行機や横河電機を中心とする武蔵野地区の軍需工場地帯は、昭和19(1944)年11月から翌年8月までの間に10回以上くり返し空襲を受けました。井の頭公園周辺も何度か爆弾を落とされ、自然文化園の水生動物館で爆発したこともありまして。少しズレて弁天堂に当たって

いたら……と思うとヒヤッとします。戦後、昭和23(1948)年には公園のプールの改修工事で数個の爆弾が見つかったり、昭和42(1967)年には水生動物館の池畔近くで夜中に爆発があったり、昭和47(1972)年になって野口雨情の碑の近くにあった売店跡で爆弾が見つかって処理されました。そして忘れてはならないのは、開園から戦中まで有名だった井の頭公園のスキ木立が失われたことです。空襲で亡くなった方々のお棺にするために、昭和18(1943)年10月頃から次々と伐採されてしまったと伝えられています。

ハート型の傷跡のあるアカマツ、そして池の周囲に何本か残されたスギ……戦争の傷跡をそっと伝えてくれる木々たちです。

安田知代

安田知代 やすだちとせ
編集者・ライター「井の頭公園*まるごとガイドブック」『懐かし
の風景 昭和20・40年 編者

私と井の頭公園 その30

都市の自然再生モデルとして注目

内山 香 (多摩市在住)

調布で育ち、虫を捕まえて遊んでいました。その影響かもしれませんが、東京の自然環境を守る仕事に関わりたくて都に就職しました。おかげさまで里山の保全事業に関わったりしながら、今に至っております。

ここ井の頭池が凄いと感じるのは、行政とNPOとボランティアさんの連携がしっかり出来ていて、地域の皆さんの意識がとても高いところです。当初かいぼりは池に捨てられた自転車が話題となりましたが、今では若いカップルが外来魚の話しながら歩いているのです。そうした市民の皆さんのかいぼりに対する捉え方の変化を追い風にして、現場ではNPOの生熊工房さんとともに、市民ボランティアのかいぼり隊との協力体制をしっかりと築きながら、様々な困難を乗り越えてきました。

業者さんに外来魚の駆除を委託してしまうやり方もあるでしょうが、効果はその時だけのものになります。市民参加方式は運営のための労力が増えますが、比較にならないほどの効果があります。池を守るといふ思いが地域にずっと根付くのです。最近では作業をしていると「ご苦労様 ありがとうございます」と声をかけてくれます。池の変化を自分のことのように感じてくれる人が増えてきたのだと思っています。

イノカシラフラスコモなどの復活を目的にしたり、私もとても感動したのですが、今度はこの水草が定着するような生育環境を守ることが目標になります。今、井の頭池は、都市の自然再生のモデルとして大変注目されています。死んでしまったと思われていた井の頭池ですが、実はしっかりと生きていたのです。

(東京都西部公園緑地事務所 工事課 課長代理・うちやまかおる)

(聞き手 川井信良)



川井信良(かわいしんりょう)
20年代80年代、三鷹市在住のフォトグラファー。



写真 古賀 親宗(こが もとりの)
1983年 福岡県柳川市生まれ。三鷹市在住のフォトグラファー。

『いのきちゃん』について

都立井の頭恩賜公園が2017年5月に開園100周年を迎えます。『いのきちゃん』は、もうすぐ100歳を迎える井の頭公園に、感謝の気持ちを込めて、地域の市民と企業と団体の協力により発行された100周年カウントダウン新聞です。名称は井の頭公園の「いの」、隣接する吉祥寺の「きち」、井の頭池が市内となる三鷹市の三「さん」を並べたものです。(奇数月1日の隔月発行です)

募集



お問い合わせ ぶんしん出版
0422-60-2211 (担当:宮川)
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17

井の頭公園の古い写真を集めています

◀昭和25年頃の井の頭池 写真提供:鈴木育男氏
2017年の井の頭恩賜公園開園100周年を記念して、井の頭公園の今昔を伝える写真集を刊行する予定です。井の頭公園の古い写真をお持ちの方で、写真集に掲載しても良い方はご一報願います。
なお、お借りした写真は、スキャンング後、速やかにご返却いたします。また、謝礼として、完成した写真集を贈呈いたします。



絶滅危惧種の水草、 かいぼりて復活!



▼池底に生育するイノカシラフラスコモ。

去る5月、水草「イノカシラフラスコモ」がかいぼり後の井の頭池で発芽していることが確認されました。新聞報道などでご存知の方も多いかもしれませぬ。

この水草は、昭和32年に池周辺で新種として発見された日本固有の植物ですが、まもなく湧水が枯渇し、水質汚濁や外来種の移入などによって井の頭池では絶滅したと考えられていました。約60年ぶりの復活は、「かいぼり」の成果としてもビッグニュースです。7月22日開催の『かいぼり後の井の頭池生きもの博2016』では、水槽に入れられて展示され、注目を集めました。

今後、イノカシラフラスコモが生育できる環境を維持していくためには、水草の天敵の外来種アメリカザリガニの駆除や、池の水循環の改善など、さまざまな地道な努力が不可欠です。活動を続けている関連団体を、これからも応援していきますよー！

よみがえれ! 井の頭池 30

第10回 | 級渡邊安浩 のいのけん受験講座

第5回『いのけん』申し込みが始まります。

2016年9月12日(月)～10月25日(火)

詳しくは「第5回井の頭公園検定募集要項」を参照願います。
募集要項は、NPO 法人みたか都市観光協会 (0422-40-5525) や 一般社団法人武蔵野市観光機構 (0422-23-5900) などに置いてあります。



『いのけん』受験をお考えの方に
お勧めなのが「いのけん講座」です。

いのけん 3・2級講座	いのけん 1級講座
11月3日(木・祝) 13:00～17:00	11月6日(日) 13:00～17:00